

## 令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

青森県

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 行 事 名 称 | 第69回文化財火災防ぎょ訓練(文化財防火デー)      |
| 実施期間・日時 | 令和5年1月22日 10:00～10:30        |
| 実 施 場 所 | 旧第五十九銀行本店本館(青森県弘前市大字元長町26番地) |
| 主 催 者   | 弘前地区消防事務組合、弘前市教育委員会          |

## ■実施内容

## 訓練の想定

令和5年1月22日(日)午前10時、2F応接室から出火。火気に気づいた職員が初期消火及び来館者の避難誘導にあたっていたが職員1名が逃げ遅れたものである。

## 訓練の内容

通報訓練、初期消火訓練及び避難誘導訓練(旧第五十九銀行本店本館自衛消防隊)

火災防ぎょ訓練(弘前地区消防事務組合、消防団及び旧第五十九銀行本店本館自衛消防隊、弘前市教育委員会)

## 参加者及び役割分担

旧第五十九銀行本店本館自衛消防隊：119番通報、初期消火、避難誘導

弘前地区消防事務組合：指揮活動、屋内検索、放水、広報・アナウンス

弘前市消防団第1方面団：中継送水、注水活動、警備

弘 前 市 教 育 委 員 会：連絡調整、訓練時避難

## 特に工夫した点

営業日の開館時間に実施したことにより、施設開館時の運用方法を想定した訓練内容となり、災害発生時の館内利用者への対応(避難誘導)について訓練を行うことができた。

## 問題点・課題

今回は、訓練ということで消防車両の侵入経路などを確保するため、事前に除排雪作業を行ったことにより、当日は、スムーズに訓練を実施することができたが、通常の積雪状況下において災害が発生した場合の想定も必要と考える。

## その他

近年、首里城、ノートルダム大聖堂など文化財での大規模な火災が発生しており、火災による文化財の損失は決して他人事ではない。日頃より消防訓練の実施、消防設備の点検などを行うことが重要。

## 訓練風景



発煙筒による訓練開始合図



自衛消防団員から指揮者へ連絡の様子



救助の様子



救助の様子



放水の様子



放水の様子